

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】令和7年4月1日(2025.4.1)

【公開番号】特開2025-13722(P2025-13722A)
【公開日】令和7年1月24日(2025.1.24)
【年通号数】公開公報(特許)2025-014
【出願番号】特願2024-199291(P2024-199291)
【国際特許分類】
G 0 3 G 1 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)
【 F I 】
G 0 3 G 1 5 / 0 0 3 0 3

10

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月24日(2025.3.24)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項1】

用紙に画像を形成する画像形成手段と、
前記画像形成手段により画像が形成された用紙を排紙するため、前記画像形成手段から
用紙を搬送する搬送手段と、
前記画像形成手段によってテスト画像が形成された用紙を前記搬送手段が搬送中に、該テ
スト画像を読み取る読取手段と、
前記テスト画像の目標読取結果を記憶する記憶手段と、
前記読取手段により読み取られた前記テスト画像の読取結果と前記記憶手段に記憶された
前記目標読取結果とに基づき、前記画像形成手段により形成されるべき画像の濃度を制御
する制御手段と、を備え、
前記制御手段は、複数の用紙に複数の画像を形成する印刷ジョブにおいて1枚目の用紙
に形成されたテスト画像の読取結果を、前記印刷ジョブの2枚目以降の用紙であって前記
1枚目の用紙と同じ種類の用紙に形成されるべきテスト画像の目標読取結果とすることを
特徴とする、
画像形成装置。

30

【請求項2】

前記記憶手段は、前記印刷ジョブにおいて前記テスト画像が形成される用紙の種類ごと
に目標読取結果を記憶することを特徴とする、
請求項1に記載の画像形成装置。

40

【請求項3】

前記制御手段は、前記印刷ジョブにおいて1枚目の用紙に形成されたテスト画像の読取
結果が前記目標読取結果として前記記憶手段に記憶された場合、該テスト画像が形成され
てからの経過時間が所定時間に達した後に、前記1枚目の用紙と同じ種類の用紙に形成さ
れたテスト画像の読取結果を前記目標読取結果とすることを特徴とする、
請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記印刷ジョブにおいて1枚目の用紙に形成されたテスト画像の読取
結果が前記目標読取結果として前記記憶手段に記憶された場合、該テスト画像が形成され
てからの画像形成枚数が所定枚数に達した後に、前記1枚目の用紙と同じ種類の用紙に形

50

成されたテスト画像の読取結果を前記目標読取結果とすることを特徴とする、

請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記テスト画像は、複数の異なる階調の画像を有することを特徴とする、

請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記画像形成手段は、変換条件に基づき画像データを変換する変換部を有し、前記変換部により変換された前記画像データに基づき前記画像を形成し、

前記制御手段は、前記テスト画像の読取結果と前記目標読取結果とに基づき前記変換条件を生成することで、前記画像形成手段により形成されるべき画像の濃度を制御すること

10

を特徴とする、

請求項 1 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の画像形成装置は、用紙に画像を形成する画像形成手段と、前記画像形成手段により画像が形成された用紙を排紙するため、前記画像形成手段から用紙を搬送する搬送手段と、前記画像形成手段によってテスト画像が形成された用紙を前記搬送手段が搬送中に、該テスト画像を読み取る読取手段と、前記テスト画像の目標読取結果を記憶する記憶手段と、前記読取手段により読み取られた前記テスト画像の読取結果と前記記憶手段に記憶された前記目標読取結果とに基づき、前記画像形成手段により形成されるべき画像の濃度を制御する制御手段と、を備え、前記制御手段は、複数の用紙に複数の画像を形成する印刷ジョブにおいて 1 枚目の用紙に形成されたテスト画像の読取結果を、前記印刷ジョブの 2 枚目以降の用紙であって前記 1 枚目の用紙と同じ種類の用紙に形成されるべきテスト画像の目標読取結果とすることを特徴とする。

20

30

40

50